

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : Digby Regional High school

留学期間 : 平成 26 年 1 月 29 日 ~ 平成 27 年 1 月 19 日

私の行った場所はカナダのノバスコシア州という所です。あまりよく知られていない場所ですが、海に囲まれていて海鮮料理がとても美味しいところでした。そして私の街は小さく、大きなショッピングモールなどは無い自然に囲まれた所でした。ホストファミリーは農家を営んでいて、毎週日曜日に私もお手伝いをしていました。そこには牛、馬、鶏、そしてターキーがいたので、基本的に掃除や、鶏の卵の回収、牛の乳搾りもしていました。鶏の卵は、白やオレンジ、青っぽい色のものもあり、暖かかったです。乳搾りは初体験だったのでとても興奮したのを覚えています。最初のうちは指がすぐ疲れてしまって、家に持って帰る用の大きな容器を満たすことはできませんでしたが、やっているうちにそれも満たせるようになり、ホストファーザーにも褒めてもらいました。普段の家の中での生活では、朝と昼の食事（学校へ持っていく用を含む）は基本的に自分で作っていました。休みの日のときはホストファミリーが作ってくれたりもしました。夜ご飯はホストファミリーが作ってくれ、とてもおいしかったです。ちなみにはじめは食後のデザートを毎回すすめられて断れず食べていて、体重がとても増えたことを覚えています。そこで学んだのがきちんと「No.」と言うこと。それを怖がったり、恥ずかしがったりと相手も分からないのでいつまでもそれが続いてしまいます。また夕食が終わったあとは家族でテレビを見たり、今日の出来事を話したりするのが日課でした。

私の行っていた学校は留学生が多く、留学生を援助するカナダ人が数人いたり、現地コーディネーターもいたりして、留学生にとってはとても過ごしやすい環境でした。学校生活は、朝スクールバスが家の前に来てくれて、それに乗って学校まで行きます。また帰りもスクールバスが家まで送ってくれます。授業は毎日 5 コマあり 3 コマ目の後にランチタイムがあり、留学生たちとみんなで昼食を食べます。そこではみんながわいわいと話して、一人ぼっちになることはありませんでした。また週の何回かランチタイムには、ボランティアクラブと多文化クラブに参加していました。

授業は基本的に自分で決めることができます。一番好きだった授業は Child Study でした。日本でいう保育と似たようなものなのですが、ここでは赤ちゃんのロボットを使って実際にそれを 5 日間、家でも学校でも世話をするというのがありました。それには実際の赤ちゃんの 1 日のデータがプログラミングされており、本当のお母さんのような体験ができました。このようにカナダの学校では日本の普通の高校ではしないような授業もとれるのでとても良い経験ができました。さらに自分で科目を選ぶことによって、将来のために何が必要かを考える必要があり、大学進学や職業について考える機会が増えるのではないかと思います。留学生活の中で私が苦労したのは英語力もありますが、それよりも自分の意思をしっかりと伝えることでした。私はもともと自分の意思を伝えるのが苦手で、多くのことを親に決めてもらったり、周りの人に合わせたりしてきました。ですが、カナダでは周りから自分の意見を多く求められます。例えば授業で「このトピックについてあなたはどう思いますか？」と聞かれて発表したり、レポートを提出したりする事が多く、私はとても苦労し

た事を覚えています。他にも、自分から話しかけないと現地のカナダ人に名前を覚えてもらえず、友達も留学生だけと限られて授業中も楽しくない時がありました。またホストファミリーとも上手くコミュニケーションが取れず、お互いに戸惑いが生じたりしました。私はこのままではダメだと思い、それからは恥ずかしがらず意見を発表したり、カナダ人やホストファミリーに話しかけたりするようになりました。またその後は色々な事に挑戦しました。初めてする事にも決して怖がらずとりあえずやってみようと考えました。例えば、ボランティアクラブに入って募金活動をしたり、多文化クラブに入って私の街に来るシリアからの難民の人々のサポートをしたり、学校でも様々な活動をしていました。また家では、ターキーの体内を洗うなど、普通の人々がためらう事も率先してしました。なぜならこのような体験はもう二度と出来ないかも知れないからです。そして挑戦する前にやめていると、それが楽しいか、楽しくないか、また自分にとって良いか悪いかは、やってみないと分からないからです。さらに挑戦した事で成功するか、失敗する事があっても、それらはどちらも自分のために繋がると私は思っています。

そしてこれら2つの事が結果として英語力の発達に繋がり、友達や家族、人間関係も充実した留学生生活を過ごせたのだと思います。このことから留学の成果としては自分の意思をきちんと伝えられるようになった事と、挑戦する事の大切さを改めて感じられたということです。

今回の留学で得たものを私はこれから社会で生きていくために活用したいと思っています。なぜならこれから社会はさらにグローバル化し、外国との関わりも増えてその中で自分の意思を伝えたり、色々な事に挑戦したりするというのは必要となってくると思います。これから行く大学で英語はもちろん、さらにもう一つ言語を学び、グローバル化した社会でも役に立てるようになりたいです。

これから留学する人たちに言いたいこと、できれば留学する前の自分に言いたい事として、まずは日本人とばかり一緒にいないこと。そして何かクラブに入ること、それが友達作りのきっかけとなります。言語に関しては、発音の練習や単語を覚えて何回も言うことだと思います。リスニングは生活をしていれば自然と力がついてくると思います。ですがスピーキングは発音、話さないと力つきません。だから友達やホストファミリーと話すのがいいと思います。せっかくの留学を無駄にしないように頑張してほしいと思います。